

パークで楽しく国際交流！



当別町パークゴルフ協会 会長

岩田

IWATA SHINICHI

伸一 さん

「当別町パークゴルフ協会」について

誰でも できるやさしいスポーツ、これがパークゴルフの最大の良さです。年齢も関係なく、ルールも簡単、世界中に広まるスポーツだと思いますよ。当別町にパークゴルフ協会ができたのが平成10年12月、発足当時は6団体、150名で幕別町の国際パークゴルフ協会本部へ登録しました。以来、市街地に2つのパークゴルフ場も造成され、愛好者も増え、現在では14団体377名が会員となっています。会員の中には80歳以上の方も36名おり、協会主催の大会のほか、町内企業の協賛大会、石狩管内スポーツフェスタへ多数の会員が参加しています。

ゴルフ 愛好者だった私も平成16年頃から誘われてパークゴルフをやるようになったんですが、1年ほどで日本選手権に参加し31位で回れたのが自慢です。何ととっても一緒にコースを回る方との交流が

楽しくてのめりこんでしまった訳です。手軽なパークゴルフは初めてプレーをする方ともすぐになじめて、みなさん弁当持参で1日中プレーを楽しんでいる方が多いです。スポーツの経験がある方は特に上達も早いですね。

レクサンド市との交流大会

北海道が発祥のパークゴルフ競技ですが、平成18年9月、「北海道スタイルフェア」という北海道の生活文化を紹介するイベントがスウェーデンのリンショーピング市で開催されました。その時、北欧にパークゴルフを紹介しようということで当会員も参加したのですが、レクサンド市にも立ち寄りデモンストレーションを行ない、クラブやボールを寄贈した訳です。

この縁で、翌年レクサンド市との姉妹都市20周年では、あいあい公園で「第1回の国際パークゴルフ大会」を開催し、レクサンド市民37名が参加しました。その後、

平成21年はレクサンド市において、当別町からの公式訪問団員9名にスウェーデン大使館の方も参加して、ヨーロッパ初の国際パークゴルフ大会となる第2回国際大会を行いました。このような経緯から今回の当別町140年記念での第3回大会が実現できた訳です。

成績は 当別の方が上回っていますよ。しかし、レクサンド市でも盛んになりつつあり、昨年、852番目の協会として、本部の登録になり、パークゴルフ場も増設すると聞いていますから、とても期待しています。今回の交流を見ても、「ナイスプレー！」が随所にあり、笑いに溢れていました。レクサンド高校の校長、マリア・パルクさんも「次回まで猛練習しておきます」と張り切っていました。世界中に通用するスポーツですね。

(10月14日取材)

岩田伸一 (太美南在住)

平成19年より当別町パークゴルフ協会第4代会長